

[anbai\_13]

活動タイトル	「第 29 回えべつ環境広場 2019」の開催
実施日	2019 年 6 月 22 日～23 日
場所	江別市野幌公民館（江別市）
対象数	約 710 人
内容	<p>「えべつ環境広場」は、江別市と市内の環境活動団体等が連携し、環境に関する情報提供や、市民と一緒に環境について考える場として、平成 3 年から毎年 6 月の環境月間に合わせて開催しているイベントです。</p> <p>今年で 29 回目となり、この時期の江別の恒例行事として、子どもから大人までが気軽に立ち寄れる「環境」のお祭りとして定着しています。</p> <p>29 回目となる今年のテーマは昨年に続き「もっと、ずっと、e ライフ」。「e」は ecology であり、energy、earth、economy、EBETSU などの e を表します。どんな e ライフが私たちの目指す生活なのか、そしてここ江別で、ずっと、もっといい (e) ライフを送るためにはどうしたら良いのかを考えました。これは SDGs（国連の定めた持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)）を、私たちなりに身近な言葉で表現したものでもあります。</p> <p>毎年多くの市民が楽しみにしている映画上映会では、「おだやかな革命」(<a href="http://odayaka-kakumei.com/">http://odayaka-kakumei.com/</a>) を上映し、映画の合間には北海道の自然エネルギーの実践家である家次敬介さんによるスペシャルトークも行いました。</p> <p>また、メインのシンポジウム (e トーク) では「持続可能な江別を目指して 3～防災・減災と 3 エネ (創エネ・蓄エネ・省エネ)」をテーマに、防災士の大浦宏照さん、江別市危機対策室の菅野直人さん、家次敬介さん、北海道地球温暖化防止活動推進員の岡崎朱実さんによるトークイベントを開催しました。</p> <p>映画も e トークの内容は共に、今年のメインテーマ「もっと、ずっと、e ライフ」を様々な形で具体的に実現している事例として紹介できたと考えています。</p> <p>その他にも、子どもたちにも楽しく環境のことを知ってもらうための、様々な体験イベントや展示を、市内の団体や学校、企業等に協力してもらい開催しました。</p> <p>今年は「森のピタゴラス」と「大工のゆうさん」が初出展し、昨年展示で初出展してくださった「コープさっぽろエコセンター」がワークショップも実施してくださったので、木育関連の内容が一層充実しました。</p> <p>今年 6 月初めに江別市では、野幌森林公園にクマが現れたのですが、「酪農学園大学環境 GIS 研究室」や「リンクアス+NPO 法人 EnVision 環境保全事務所」では、出展内容にクマ情報や、出会ったときの注意なども加えて紹介いただき、今年の江別らしい内容となっていました。</p> <p>また、手話通訳の方が常時待機してくださった他、トークイベント、スタンプラリー抽選会では手話通訳も行っていただき、参加者の皆さんに手話を教えていただく機会も持ちました。</p>

「トークイベント」の1つ、「みんなで考えよう！海洋を汚染するプラスチックごみ」には、手話通訳を必要とする方が参加してくださり、質問もしていただきました。質問者の手話を、手話通訳者が、聞き言語にしてくださり、講師とのコミュニケーションが成立したのです。SDGsの「誰一人取り残さない」に、少し近づいた気がした時間でした。

子どもたちに大人気の「環境忍者えこ之助」と「えべちゅん」も会場を大いに盛り上げてくれました。

2日間で親子連れなど約710名もの市民の皆さんに会場にいただきました。

なお、えべつ環境広場の主催は「えべつ地球温暖化対策地域協議会」で、私が会長として、同じく北海道地球温暖化防止活動推進員の岡崎朱実さんが副会長兼事務局長として関わっています。(地球温暖化対策地域協議会は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」で、地球温暖化防止活動推進員が、地方公共団体や、事業者、住民等と連携して、日常生活における温室効果ガスの削減を図るものと位置づけられており、推進員の重要な活動の一つです。)

2020年6月には第30回として開催を予定していますので、機会があればぜひ遊びに来てください。

●えべつ地球温暖化対策地域協議会：<http://ebetsu-earth.net/>

#### 実施写真等

